



デ・ラ・サール大学は、日本と政治的・経済的・社会的に密接な関係のあるフィリピンの名門校です。

2週間のプログラム期間中は英語のみを使用し、フィリピンの法律を始め、文化や社会を学んでいきます。

プログラムを通じて、「法律の専門知識」及び「コミュニケーションの手段としての英語力」を養うことが当研修の狙いです。

発行：明治大学法学部

<http://www.meiji.ac.jp/hogaku/dlsu/>

2017. 02. 26~2017. 03. 12

De La Salle University

Spring Law Course 2016

2016 年度デ・ラ・サール大学春期法学研修 in フィリピン報告書



もくじ

1. 教員あいさつ	2
2. Introduction to DLSU Spring Law Course . .	3
3. Schedule	4
4. フィリピンでの生活	5
5. 授業	6
6. ユニカセ・マニラ紫紺会との懇親会	7
7. 休日	8
8. フィールドトリップ	9
9. Message from DLSU Students	10～12
10. 参加者からのメッセージ	13～14
11. 2016 年度研修概要	14



1. 教員あいさつ

世界へはばたこう

法学部長 青野 覚

明治大学法学部は、フィリピンのデ・ラ・サール大学法学部と提携して、2014年3月からデ・ラ・サール大学春期法学研修を実施しています。

この研修では、デ・ラ・サール大学法学部の教員や弁護士から直接フィリピンの法律や司法制度を英語で学びます。「英語で法律を学ぶ」と聞くと、とてもハードルが高くなるかもしれませんが、こちらの研修は1年生からの参加が可能です。渡航前の事前学習はもちろんのこと、研修先では現地学生のサポートもありますので、海外経験がない学生でも挑戦できる環境が十分に整っています。また、研修の一環として実施される国会議事堂、裁判所、法律事務所などへのフィールドトリップでは、フィリピンの政治と法の現場を身近に実感することができ、さらに、現地の学生・教員との各種の文化プログラムは、フィリピンの歴史と文化と社会をより深く知る機会になると確信しています。

プログラムを終える頃にはきっと、海外でやり抜く力と自信がついていることを実感できるでしょう。ぜひ、日本を飛び出して世界にはばたきましょう。

Learn Beyond Borders

Program Director Teruhisa Komuro

Meiji University School of Law and De La Salle University College of Law's relationship is still in its infancy, but is very strong. We are sharing the value of the fundamental human rights in legal education, and we are both developing human resources with global perspectives. In this context we have launched short-term study abroad courses in Manila (since 2014) and in Tokyo (since 2015) for law students to understand and respect law and culture of the Philippines and Japan, and to be able to improve the friendly relationship between the two countries.

What we expect from our young law students most is to 'learn beyond borders'. In order to solve the problems and improve each society, the knowledge and experiences of the other country will certainly help. Of course to feel the culture and the hearts of the people will contribute to further mutual understanding. We hope those who participated in the course will support the societies and enhance the relationship between Japan and the Philippines.

2. Introduction to DLSU Spring Law Course

私たちは2017年2月26日から3月12日までの約2週間、2016年度デ・ラ・サール大学春期法学研修に参加しました。

本研修は、ケンブリッジ大学コーパス・クリスティ・カレッジ夏期法学研修と同様、「英語で法律を学ぶプログラム」として、2013年度から実施されています。研修は全て英語で行われますが、授業だけでなく、現地の人々とのお喋りや食事の際の注文など、あらゆる場面で日常会話を鍛えることができます。研修期間が短期であるため、海外留学に不安を持っている人や外国へ初めて行く人でも気軽に参加できます。マニラとの時差は-1時間で、成田空港からおよそ4時間で行くことができます。

デ・ラ・サール大学は、1911年に設立された、とても歴史ある大学です。キャンパスはマニラ市に位置し、全部で8つの学部・大学院があります。フィリピン初のキリスト教を信念とするキリスト系の大学でもあります。フィリピンの中でもかなり裕福な大学で、敷地面積がとても広く、設備が充実しています。また、学校の入り口には必ず警備員が立っていて、防犯対策の為にIDカードを使った厳重なチェックが行われています。

研修では、現地の大学の先生から、英語でフィリピン法を学びます。Introduction to Philippine Law and Legal Professionとして授業が展開されます。フィリピン法の基礎から丁寧に教わるので、1、2年生でも十分理解できると思います。授業以外にも、フィールドトリップや遠足など、多彩なプログラムが設けられています。

国会議事堂の見学や裁判の傍聴ができる一方で、週末にはビーチに行き、フィリピンの美しい自然にも触れられます。授業だけでなく、現地の人々とのお喋り、ファーストフード店でのオーダー、ホテルのルームサービスについてのフロントからの電話など、あらゆる場面で日常会話を鍛えることができます。

現地でのサポートも大変充実しています。デ・ラ・サール大学の学生が生活面、勉強面でサポートしてくれます。移動の際は大学関係者が同行してくれるので、治安についての不安は全くありません。

文化や言語が日本とは異なった環境で生活するのは、最初は大変ですが、日本では得られない経験や、新しい発見がたくさんあります。研修後にはきっと以前とは違った、成長したあなたに出会えると思います。



3. Schedule

2月26日	2月27日	2月28日	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日
日	月	火	水	木	金	土
Arrival	Lecture	DLSU Orientation	Lecture	Manila City Hall	Free Time	Lecture
Welcome Dinner	Cultural Immersion	Lecture	Lecture	Uniquease Visit	Lecture	Lecture
3月5日	3月6日	3月7日	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日
日	月	火	水	木	金	土
Field Trip	Malacanang Palace	Lecture	Free Time	Lecture	Presentation	Free Time
	Senate of the Philippines	Lecture	Law Firm Visit	Lecture	Free Time	Send Off Party
3月12日						
日						
Free Time						
Departure						

毎日授業がありますが、臨機応変に対応してくれるため、そのときの私たちに最適なスケジュールで過ごすことができます。当初は空白のところがないくらい予定がありましたが、体調を崩す人などが出たため、休みになることもありました。2日間に1度くらいの割合でフィールドトリップが含まれており、最高裁や市役所など私たちだけでは訪問できないようなところも見学することができました。また、私たちの希望もくみ取ってくれ、7日目にはビーチへ連れて行ってもらいました。学校帰り、1日勉強した後、スクールバスで大きなモールへ行って買い物を楽しんだり、遊びにも学びにも全力で過ごすことができました。また、デ・ラ・サールの学生がつきっきりでいてくれるので、フィリピンの現地の生活にも触れることができました。

4. フィリピンでの生活

■食事

フィリピンの食事は日本とは大分異なりました。フィリピン人は、基本的には箸を使いません。そのために食事はスプーンとフォークを使うことが多かったです。食べているものに関しても違いがありました。フィリピン人の主食は日本人同様米ですが、日本の米と違い、水気がなくパサパサでタイ米のようでした。フィリピン人は米が好きです。コンビニのチキン、ケンタッキーそしてマックにも米がついています。そして米がおかわりし放題の店も多いです。そしてフィリピン人はチキンが好きで、町のいたるところでチキンを食べることができます。チキンも日本のものとは違い、米同様、水気がなくパサパサしています。フィリピンには多くの飲食店やファーストフード店がありますが、ジョリビーというファーストフード店が一番人気です。フィリピンでは多くの日本食も食べることができます。フィリピン料理は日本料理とは味付けは違いますが、日本人の舌に合わないということはないので、滞在中は多くの料理をおいしく食べることができました。下の画像は、左から紫芋を使ったハロハロ、豚の丸焼きのレチョン、フィリピンのチキンです。どれもおいしかったです。



■交通

フィリピンの交通手段は、日本と似ているものが多いです。一般的な自動車、タクシー、自転車などです。電車は使い勝手が日本より悪いらしく、現地の学生はあまり使わないそうです。タクシーは安いので日本に比べて使う人が多いように感じました。フィリピン特有の乗り物としてはジプニーがあります。見た目はバスに似ていますが、機能としては、乗り合いタクシーに似ています。ドアがなく、後ろから乗り込む形になっています。マニラ市内ではポピュラーな乗り物で、一日に何度も見かけますし、多くの人が使っています。またトライセコーという乗り物も市内ではよく見かけます。自転車やバイクの横に人を乗せるための車両がくっついていて、見た目はサイドカーそっくりです。これも市内ではよく見かけます。多くの市民の生活を支えている乗り物です。因みに、マニラの道路は日本に比べてごちゃごちゃしていて、ク



ラクションがうるさく、少し危ないです。また、観光客向けですが馬車もあります。小さいですが、左からジプニー、トライセコー。

5. 授業

この法学研修のメインとなる、法律の授業についてお話します。

法学の授業では、デ・ラ・サール大学の優秀な先生方の授業を直接受けることができました。これはとても貴重な機会であり、この研修に参加すべき最大の理由の1つということができると思います。しかし語学研修ではないため、「英語を学ぶ」という私たちが日本で行っている学習をスキップした、「英語を使って学ぶ」という形態の授業です。

普段英会話に慣れていない学生の方には、厳しいものに思われるかもしれませんが、心配はいりません。先生方はゆっくり丁寧な英語で授業を行い、また私たちが聞き取れていなくて困っている様子を見てとると、板書などで私たちの理解を助けてくれます。だから、多少英語が苦手であっても、2週間を何とか乗り切ることができます。

将来のより長期の留学を見据えている方にとっては、「英語を使って、今の自分になり新しい概念を学ぶ」ということができる、非常に大きなチャンスです。しかも少人数で授業を行っていただけるので、質問があればすぐにできるという大変恵まれた環境なので、留学を考えている方は、更なるモチベーションアップのために、ぜひ参加していただくことをお勧めします。

授業は1コマ1.5時間から2時間程度で、先生によって、またその日のスケジュールとの兼ね合いで長さが変わります。

▼「法律を学ぶとは」



今回の研修で受けた授業は、1年生が明治大学ですでに履修済みの Constitutional Law(憲法), Civil Law(民法), Criminal Law(刑法)の三法にとどまらず、Human Rights Law(人権法), Women's Human Rights Law(女性の人権法), International Law(国際法), Intellectual Property Law(知的財産法), Labor Law(労働法), Company Law(会社法)など

授業内では、フィリピンにおけるこれらの法律の特徴が説明された後、日本ではこの点はどうなっているのか、といった質問が先生から投げかけられます。したがって、日本の対応する法律についての簡単な知識が求められます。

最初は耳と頭が追い付かないかもしれませんが、2週間でだいぶ慣れてきます。頑張ってください。

6. ユニセカ・マニラ紫紺会との懇親会

今日のフィリピンにおいて、貧困格差は深刻な社会問題となっています。大学の高層階から街を見下ろした際、綺麗に整備された近代的な区域と、そうでない区域が隣接しているのを見て衝撃を受けたのを覚えています。

ユニカセは、そんなフィリピンの貧困層に生まれ、恵まれない環境で育った青少年を救う目的で設立された団体です。

代表を務めるのは、明治大学の卒業生でもある、社会起業家の中村八千代さん。

NGOの派遣によってフィリピンに訪れた中村さんは、貧困の連鎖を目の当たりにします。貧困の連鎖とは、子供が家庭のため働かなくてはならず、満足いく教育を受けられずにいい就職ができない。そしてその子供も…といった状態です。この連鎖を断ち切るには雇用機会の創出が重要だと考えた中村さんは、レストランを運営し、元ストリートチルドレンの青少年を雇うことで、彼らの生活を支えています。レストランでは、彼らの次の就職につながる教育も行っています。実際、レストランで働く以前は英語が話せなかった従業員もいたそうですが、皆さん流暢な英語を身につけていました。

今回は、このユニカセ・レストランで行われた、マニラ紫紺会定例懇親会にお邪魔してきました。マニラ紫紺会は、約28名からなる明治大学校友会の海外支部です。日系企業に勤めている方や、農業の分野で国際協力に従事している方など、様々なフィールドで活躍する先輩方のお話はどれも興味深く、今後の大学生活やその先のキャリア形成において大きく役立つのではないかと思います。

また、元ストリートチルドレンの従業員の方々との交流も印象的でした。ニュースや本からは知ることのできない、国民のフィリピン政府や警察・社会に対する生の意見が聞ける貴重な時間となりました。

ユニカセでは、野菜が中心のマクロビ風料理を提供しています。次々と提供されたヘルシーで美味しいお料理とも相まって、充実した時間を過ごすことができました。



7. 休日

このフィリピンでの2週間の研修は、勉強ばかりというわけではありません。講義やプレゼンテーションの準備の合間を縫い、デ・ラ・サール大学の教授と学生さんはいろいろな所へ連れて行ってくれます。今年度の私達は、週末の2日間を使って、マニラ郊外のリゾート地へ行ってきました。



▲ 宿泊したホテル「SOFITEL PHILIPPINE PLAZA MANILLA」
南の島をイメージした、マニラ唯一の5つ星リゾートホテルです。



▲3月とは言え、さすが南国。海が綺麗なのはもちろんのこと、水温も高い！よく食べよく遊び、素敵な休日になりました。



▲ビュッフェも有名なんだとか。
どれも美味しく、とても朝ごはんだけでは回りきれないほど豪華でした…。

休日の後は、いよいよ本格的なプレゼンテーション準備期間へと入っていきます。ここでたっぷりとリフレッシュしたことで、とても良い切り替えができました。また研修の思い出としても、この2日間は強く記憶に残るものとなりました。なかなか訪れることのないフィリピン、ぜひ楽しみ尽くしてください！

8. フィールドトリップ

日本でも普段はなかなか訪問できない施設でした。最高裁判所や法律事務所、国会そして教会など、さまざまな場所に行くことができました。とても貴重で楽しい経験でした。

移動手段はすべてハイエースだったので、移動中も現地の学生さんたちが有名な場所を通るとそれについて詳しく話をしてくれたりしたおかげで、フィリピンについてたくさん興味を持つきっかけとなりました。



上訴裁判所 ↑



セネートのシンボル ↑
このロゴの入った T シャツをみなで購入して着ていました。

ここでは、実際に第一線で活躍する弁護士先生とお会いできて、様々なお話をさせていただきました。建物内は天井が高かったりと、日本の裁判所とも作りが似ていてとてもきれいでした。日本でも入ったことのない法廷内にも立ち入ることができました。

議会 (Senate) では、世界的にも有名なボクシング選手兼フィリピン上院議員のマニーパッキャオ氏にお会いすることができました。

マラカニアン宮殿は、大統領邸です。フィリピンのドナルド・トランプとも言われているロドリゴ・ドゥテルテ大統領とも会えそうでした。

フィールドトリップ先は、行政関係の建物だけではなくありませんでした。博物館や由緒ある公園など、大学以外のあらゆるところでも、フィリピンの文化を体験することができました。



9. Message from DLSU Students

Good relations have to start somewhere right? Well, this student exchange program is an excellent way to assist you in reaching out to new possibilities. A program that will help you understand more of other cultures, traditions, and especially the law. This program will help you understand the inner workings of laws in other countries; most specifically in the Philippines. Along the way meet new friends, and long lasting relationships elsewhere other than home. A guaranteed experience that will make you appreciate the way legislation works—but with a different kind of flavor.

As students of De La Salle University - College of Law, we will personally aid you in this journey. We will guide you in your stay, making it a more enjoyable and learning encounter. Not only you guys, but we DLSU-COL students also enjoy learning more about Japan through our Japanese exchange students. This program is a relationship that goes both ways in which we all adopt a ‘give and take’ attitude. We really enjoy doing this program with MEIJI University and hope to continue this relationship lasting. So I urge you all to come and join this program. DLSU will gladly welcome you with open arms.



皆さんこんにちは!

I’ ve always been an avid fan of all things Japanese. As I found myself liking all aspects of Japanese culture that gets reproduced here in the Philippines, I’ ve always asked myself “are the Japanese really this awesome?” This curiosity I had within me was so great that I even chose Japanese studies as my university degree. There, I learned everything there is to know about Japan and the Japanese without going there myself. But I still felt like I didn’ t know enough. I thought to myself, a personal experience would be the best way for me to tell whether or not the Japanese are really as awesome as they seem to be.

This is where the Meiji Exchange program enters the picture. Although the program should be more of a Filipino experience for the Japanese exchange students, I found that my curiosity with Japan was also becoming full circle.

Everyone in the program was kind and respectful to the Philippine culture. I couldn't believe it when I realized that Japanese people, as represented by the exchange students, were even more awesome, compared to how they are depicted in Japanese media.

Even though it was just two weeks, I believe that I learned much more about Japan than my university degree ever taught me. And I think that's great, considering I didn't even go to Japan yet.

I'd like to think that the exchange students also had an equally awesome time spent here with us.

If you've ever had an inkling of curiosity about the Philippines, I implore you to join this program that we share. I promise that there is more than meets the eye when it comes to Philippine culture and Filipinos in general. Just like how I realized that Japanese culture and people are also better than what we already see in media.

And of course, when you do wish to scratch that itch of curiosity about the Philippines, there's no doubt that you should choose this program! I realized that the people of Meiji University and the De La Salle University College of Law have a lot in common. And this common ground creates rapport that breaks through any language or cultural barrier that we would initially have.

どうもありがとうございました！



The students likewise engaged in academic trips. They went to the Supreme Court, Court of Appeals, Regional Trial Court of Manila, Malacañang Palace, and the Senate of the Philippines. Their visit in the Court of Appeals became more educational when Justice Reyes and Justice Bato invited them to their office and engaged in a friendly discussion about Philippine and Japanese legal system and culture. During the senate visit, the students got a chance to meet Senator Manny Pacquiao and Senate President Aquilino Pimentel III.

Of course, not all exchange programs limit only to the academic studies. The students went on a day tour in Canyon Cove, Batangas City. They went Island Hopping and Snorkeling. The students were very happy to go to a Filipino beach.

During the Panel Discussion, the students were divided into three groups. One group presented a comparison of Philippine and Japanese Family Law. The other, discussed Human Rights. The last group compared Criminal Procedure of both countries.

On the last day, members of DLSU-International Law Society organized a send-off party.

They prepared Filipino games such as Calamansi relay and Paper dance. Meanwhile, a Japanese traditional game 'Fukuwarai' was played by everyone. A Filipino student sang a Japanese song and likewise, a Japanese student sang a Filipino song. All the exchange students presented a song called "Uei o muite" and a dance called "Koi Dance" which is very popular in Japan right now.

In the end, it is not only the exchange students who learned during their stay here. The De La Salle students also learned a lot about Japanese law and culture. It was a very memorable experience.

I highly encourage you to join the De La Salle University - Meiji University 2018 student exchange program. This exchange program is a mixture of celebration of sorts and that of an intensive academic training.

This is an opportunity for you to meet Filipino Law students who share the same interests and at the same time offer a different perspective. This is also a learning process to know more about Philippine's Legal System, International Law, and Culture.

Just as with the previous batch, this program will offer various subjects taught by notable professors who are experts on their respective fields. We will also engaged in field trips and cultural immersions to experience the Filipino culture. Trips to the Supreme Court, Law Firms, Senate, and other sites for furtherance of legal knowledge are also scheduled. We will also engage in a culinary experience where we will bring you to experience Filipino cuisine among many others.

Join now and we will definitely make you feel at home in the Philippines!



10. 参加者からのメッセージ

最上裕太

私にとって今回が初めての海外渡航でした。渡航する前は不安でしたが、終わった時には参加してよかったと思いました。日本にいたら体験できないようなことが経験できました。現地の学生は私たちに困ったことがあると、いつでも助けてくれました。多くのことも学びました。きっと素晴らしい経験になると思うのでぜひ参加してほしいです。

鈴木梨沙子

この研修に参加する前は、期待と不安が入り混じっていました。フィリピンは日本とは文化も経済レベルも違います。治安の面での心配もありました。しかし研修を終えた今では、期待以上という他ありません。デ・ラ・サール大学のサポートは本当に手厚く、現地の学生さんは親切で陽気な人ばかりです。日本に帰る頃には、フィリピンが大好きになっていました。もし参加を迷っている方がいるなら、どうか思い切って行ってきてください。後悔はさせません！

相馬未侑

私は東南アジアに渡航するのは今回が初めてだったので、プログラムに参加する前はとても不安でしたが、この2週間で人生が変わった！と言えるくらい本当に素晴らしい経験をさせてもらえました。フィリピン人の優しさにたくさん触れ、フィリピンという国が大好きになりました！！もし少しでも興味がある人は、迷わず参加してほしいです。このプログラムの経験が、きっと将来の選択肢を広げてくれると思います。

保高悠子

今回の研修は、私にとって初めての東南アジアを訪れる機会であり、また初めて、英語だけで行われる授業を受ける機会でした。

英語で、しかも法学の授業を受けるのはとても大変なことです、より長期の留学を考えている方やアカデミックな英語の力を伸ばしたい方には、必ず役に立つと思います。

小寺彩乃

私はこのプログラムで様々な経験を得ることが出来ました。自分が知っている世界とは違う世界を初めて見てみて、考え方がより柔軟になったと思います。この研修を通して、今までより視野が広い見方が出来るようになったと思います。短い期間でしたが、このプログラムに関わってくださった方々すべてに感謝したいと思います。ありがとうございました。

白神かさね

私は、メディアの情報だけではわからないような、フィリピンの実情を知りたいと思い、この研修に参加しました。そして、三つのことを知ったのです。まず一つ目は、日本のメディアだけでは知りえない、フィリピンの法律、政治、文化についての生きた情報。二つ目は、人は言語の壁を超えて友情を築けるということ。そして最後は、フィリピン人が親切で温かいということ。デ・ラ・サール大学の学生や教職員の方々は、困った時、いつも助けてくれました。そして、彼らの陽気な人柄に勇気付けられました。そのことには本当に感謝しています。この二週間、実際に自分の目で見、耳で聞き、心で感じたものは、一生の財産となることでしょう。たとえ今フィリピンに行くのが不安であっても、まずは行ってみるべきです！

森田優一

今回のデ・ラ・サール大学へのプログラムは自分にとって初めての海外での研修で、行く前は1年間しか法律の勉強をしていないこと、英語力にも自信がなかったこと、そしてほとんど知らない人同士で行くということに、とても不安を感じていました。しかし、フィリピンでは日本語が全く通じないので、できない英語でもなんとか相手に伝わるように、とても頭を使いました。そのおかげで、英語でも授業に少し慣れて、日本とフィリピンの法律の違いについても学ぶことができました。また、唯一、母国語で会話できるのが同行の6人のメンバーだったので、とても仲良くなることもできました。2週間というあっという間の期間ですが、自分にとっては、一生忘れない濃い2週間でした。参加してよかったと強く思いました。

このプログラムを少しでも考えている人がいれば、参加をお勧めします。

11. 2016 年度研修概要

- 期 間： 2017 年 2 月 26 日（日）～3 月 12 日（日） 15 日間
- 参加人数： 7 人
- 研 修 校： De La Salle University College of Law（フィリピン・マニラ）
- 滞 在 先： Hotel Benilde Maison De La Salle（朝食付き・2 人 1 部屋）
- 研修費用： 約 30 万円（別途、法学部から助成金 7 万円を支給）
- 成績評価・単位認定： 2 週間の研修の「授業参加度」「理解度」、現地での「最終試験」および法学部での「事前・事後学習」で総合的に評価し、翌年度春学期集中「Legal Studies Abroad」として 2 単位付与。



Great Memories in Manila

